

事務局便り号外

第1回大分市ケアマネジメントセミナー

主催：大分市介護支援専門員協会

「第1回大分市ケアマネジメントセミナー」を3月8日（土）にコンパルホールにて開催しました。当日は、196名の参加者があり、盛況のうちに終了することができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



基調講演

「生きることをみつめよう」
阿部志郎先生（神奈川県立保健福祉大学名誉学長）

人生は、大きく分けて3つの時期、愛される時期、愛する時期、再び愛される時期があり、その愛とは何かを、世界の社会保障の源流や宗教、先生の体験談を通してお話いただきました。私たちの人生や日常の仕事を振り返る機会を与えてくださり、素直に心洗われ、感銘を受けました。「生きる」ということを安易に考えている自分、みつめられない自分を気づかせてくれた、重みのある内容でした。

私たちが使う「愛」と、阿部先生が発する「愛」という言葉の響きは同じですが、その「愛」の持つやさしさや強さが違うと感じました。同じことを好み、違うことを嫌う日本人である私たちに問いかけてくる、意味ある基調講演でした。



第1分科会

「新規介護支援専門員が活かせるソーシャルケアワークの面接技術」

明石二郎先生（九州保健福祉大学非常勤講師）

グループワークでの演習を中心にしながら面接技術のイロハを学びました。相手のことを深く理解していくためには安定した信頼関係が必要であり、それは面談を通して築いていく・・・私たちの仕事にとって一番大切で知っておかなければならない技術だと感じました。



第2分科会

「人の尊さを支える～人間理解・個別理解のもとに～」
杉野寿子先生（徳山大学福祉情報学部講師）



主観的、客観的に「自分自身とは」と問いかけ、自身のストレンクスやライフステージを再確認するグループワークを行いました。様々な角度から、自分自身を見つめ、自分を含め誰しも一人ひとりに大切な人生があることを自覚し、大会テーマである“「生きる」ことをみつめる”意味について考えることができる内容の講義でした。

第3分科会

「認知症の人に視点にたてるか？～センター方式を利用して～」

吉川浩之先生（有限会社なでしこ代表取締役）

グループごとにセンター方式のシートを活用しながら、認知症の方へのケアの視点やそのマネジメントの視点を学びました。

認知症の方の気持ちになって考えることからマネジメントが始まることに気づきました。



第4分科会

「生きることをみつめよう～コミュニティのなかで支える生活とは～」

筒井のり子先生（龍谷大学社会学部教授）

「コミュニティの中で支える生活」をテーマに演習を交えて学習しました。私たちが考える地域とコミュニティの違いを学び、コミュニティの中で生活をする人たちを支えるにはそのコミュニティを知らなければならない、「地域を知る」ということの重要性を改めて実感しました。

